

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆国内景気は回復基調続く GDP、10～12月2.8%増

・国内景気は回復基調を保っている。内閣府が17日発表した2024年10～12月期の国内総生産(GDP)速報値は実質の季節調整値が年率換算で前期比2.8%増だった。GDPの過半を占める個人消費は0.1%増とかなりプラスを維持し、0.7%増だった7～9月期と比べると鈍化が目立つ。物価次第では消費が低迷するリスクがある。

◆長期金利1.43%に上昇 国内発インフレ嗅ぎ取る

・国内金利の上昇に弾みがついてきた。長期金利は18日、2009年11月以来約15年ぶりに1.43%に上昇した。外国での物価上昇が国内に波及する輸入インフレに加え、人手不足などから生じる国内発のインフレが強まってきたことが背景にある。日銀の追加利上げ観測が高まりやすくなっている。

◆大規模下水道、380キロが損壊リスク 耐用年数超え

・都道府県が管理する大規模な下水道管の老朽化が進んでいる。耐用年数を超える管路は、東京―名古屋間を超える約380キロメートルに及び、今後20年間で12倍に膨らむ。下水道部門の職員減少が続く中、新技術を駆使した重点的な点検と補修に向け、抜本的な対策が求められる。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆24年建設工事受注高 前年比9.9%増の121兆円 物価高を反映

・国土交通省が公表した「建設工事受注動態統計調査報告(2024年集計)」によると、2024年の受注高は前年比9.9%増の121兆5371億円。このうち元請受注高は78兆3567億円で同7.7%の増加、下請受注高は43兆1804億円で同14.1%の増加。物価高や価格転嫁などの影響を反映した結果となった。

◆脱炭素電源、2040年度に最大7割 次期エネ計画閣議決定

・政府は新たなエネルギー基本計画と地球温暖化対策計画を閣議決定。2040年度に再生可能エネルギーと原子力を合わせて全電源の最大7割に増やし、再生エネと原子力発電所をともに最大限活用する方針を明記。温暖化ガス排出量は13年度比で73%減らす目標を掲げた。

◆ホームセンター島忠、50店舗の展示商品を一新 リフォーム事業拡大に本腰

・ホームセンターや家具店を運営する島忠は50店舗あるリフォーム売り場の住設機器を一新。一部店舗では水回り製品を30台近く展示する大規模な売り場を開設。中・高級価格帯製品の販売を核としたリフォーム事業の拡大に本腰を入れる。同社はニトリホールディングスの傘下でホームセンターや家具店を運営。

《 注目商品 》

■三協アルミ、戸建ての防犯対策で出荷数が増加 面格子など

・三協立山・三協アルミ社が販売する面格子の出荷数が前年同期比で約3倍、シャッター関連商品は約1.5倍と急増。闇バイトによる強盗事件の増加を背景に、戸建て住宅の防犯意識が高まっているとみる。侵入に5分以上かかる防犯性の高い防犯建物部品を販売。



■トクラス、新時代の水まわり「Noare(ノーレ)」

・浮遊感のあるデザインのフロートタイプや、椅子に座りゆったりとした時間を過ごせる片側オープンプランなど。「マルチユースベッセル」ボウルを採用。小物の仮置き・飾り棚に使えるデザインシェルフや扉と同色に揃えることもでき、まとまり感のあるスタイルを実現。



■日立、「冷蔵庫カメラ」が進化した新モデル「まんなか冷凍HXCCタイプ」

・冷蔵庫の新モデルとして、「まんなか冷凍HXCCタイプ」を発売。冷蔵室に加えて、冷凍室下段、野菜室を撮影できる「冷蔵庫カメラ」を装備。撮影した画像は、日立冷蔵庫コンシェルジュアプリで確認可能。買い忘れや食材の二重購入、買いすぎなどを抑えられる。

